



2026年5月8日

各 位

会社名 株式会社タイミー
代表者名 代表取締役 小川 嶺
(コード番号: 215A 東証グロース)
問合わせ先 取締役 CFO 八木 智昭
TEL. 03-6822-3013

よくある質問と回答 (2026年5月)

平素よりご愛好いただきありがとうございます。足元で投資家様からいただいた主な質問とその回答について下記の通り開示いたします。

本開示は投資家様への情報発信強化とフェア・ディスクロージャーを目的にしております。回答内容については、時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性がある点ご了承ください。

以 上

Q1. 大手飲食店を中心にスポットワークプラットフォームの内製化の動きが出ておりますが、事業への影響はいかがでしょうか。

事業への本質的な影響はないと考えております。

最大の理由は稼働率（人手を確保できるか）です。スポットワークは仕組みを導入するだけで容易に人手を確保できるものではありません。ネットワーク効果が効く先行者優位のビジネスモデルであり、弊社の圧倒的なユーザー基盤と緻密なマーケティング・プロダクト改善の蓄積が生み出す高い稼働率は、競合他社のみならず、内製化プラットフォームにおいても代替困難な参入障壁となります。さらに、特定企業/グループの求人に限定された内製化プラットフォームは働き手にとっての仕事の選択肢が少なく利便性が低いいため、人手確保の難易度はより一層高まると推測しております。

企業がスポットワークプラットフォームの内製化を検討する主因は「コスト抑制」にあります。これは弊社が継続的に取り組んできた最重要課題の一つです。現在、各業界のクライアント経営層との関係構築を強化し、スポットワークの適切な活用による費用対効果の最大化について説明をしております。飲食業界においても、適切なスポットワークの活用は人手不足による機会損失を防ぎ、外注人件費率を最適化したまま、売上を増加させる有力な経営手段になると確信しております。

Q2. 外国人労働者向けの在留資格「特定技能」の外食業分野における新たな受入の一時停止の事業への影響はいかがでしょうか。

事業への影響はポジティブであると考えております。

外国人労働者の採用を計画していた店舗において、不足分をスポットワークで補完する代替需要が拡大するだけでなく、スポットワークを活用することで固定費化しやすい人件費を変動費化させ、経営の柔軟性を高めるという本質的なシフトが加速すると考えております。一方で、本件は一過性の特需による急激な増収をもたらす性質のものではなく、中長期的な収益基盤の拡大に寄与する好機と捉えております。顕在化した現場の需要を的確に取り込み、飲食業界における売上成長に繋げてまいります。

【過去のよくある質問と回答】

以下サイトにてご確認ください。

https://note.com/timee_ir/n/n49007098b9a0